２　中学生意識調査

２－１　回答者の属性

回答者の属性（学校、学年、性別）は以下のとおりです。

図表 2-1-1　学校

区分	回答数(人)	割合(%)
武豊中学校	604	70.1%
富貴中学校	258	29.9%
無回答	0	0.0%
計	862	100.0%

図表 2-1-2　学年

区分	回答数(人)	割合(%)
１年生	396	45.9%
２年生	466	54.1%
無回答	0	0.0%
計	862	100.0%

図表 2-1-3　性別

区分	回答数(人)	割合(%)
男性	442	51.3%
女性	419	48.6%
無回答	0	0.0%
計	862	100.0%

２－２　武豊町の暮らしやすさ

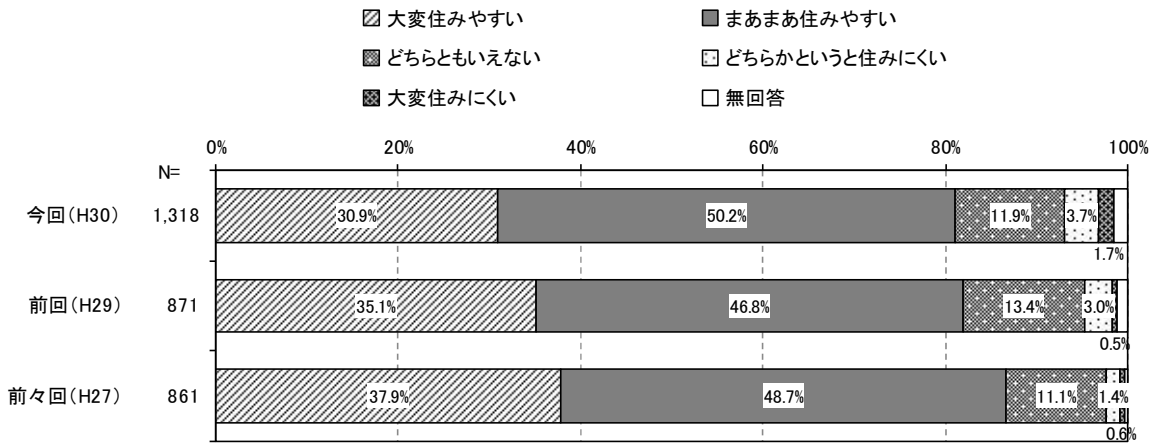
（１）住みごこち

問１　武豊町の住みごこちはどう思いますか。（１つに○印）

「大変住みやすい」が 30.9%、「まあまあ住みやすい」が 50.2%で、両者をあわせた割合は 81.1%となります。８割以上が武豊町は住みやすいと評価しています。一方、「大変住みにくい」は 1.7%、「どちらかというと住みにくい」は 3.7%と少数でした。

前回調査（平成 29 年）では、「大変住みやすい（35.1%）」と「まあまあ住みやすい（46.8%）」をあわせた割合は 81.9%でした。また前々回調査（平成 27 年）では、「大変住みやすい（37.9%）」と「まあまあ住みやすい（48.7%）」をあわせた割合は 86.6%でした。住みやすいとの評価は平成 27 年、29 年、30 年の順にわずかながら低下しています。

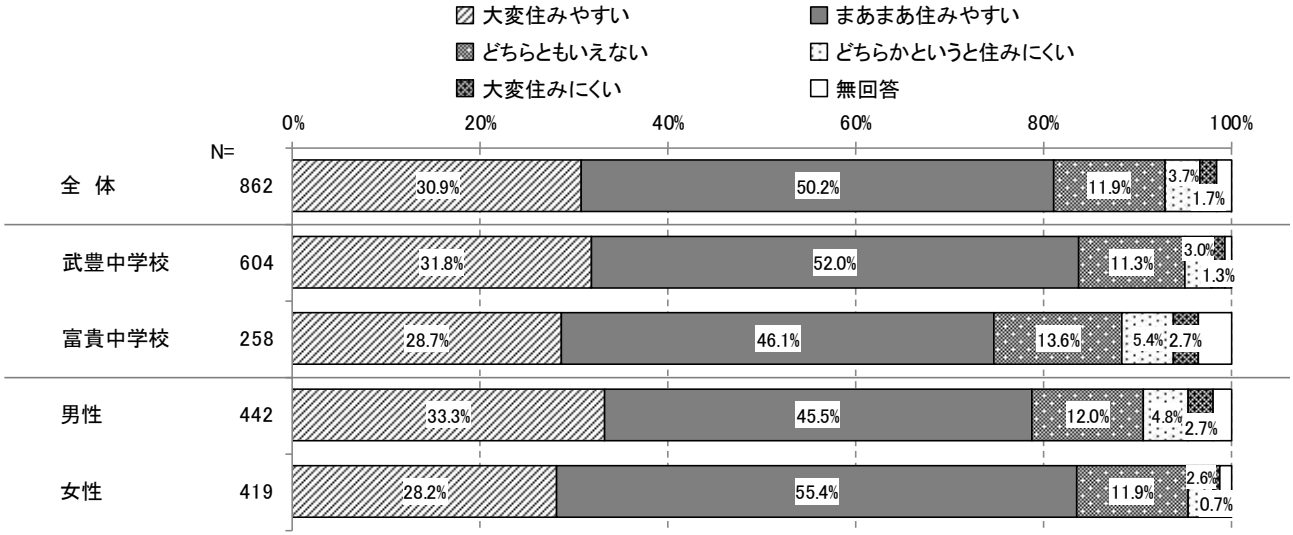
図表 2-2-1　住みごこち（前回調査比較）



以下、回答者の属性別（学校別、性別）に傾向をみていきます。

学校別	○「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合は、武豊中学校で 83.8%、富貴中学校では 74.8%で、武豊中学校の方が 9.0 ポイント高くなっています。 ○「大変住みやすい」で比較しても、武豊中学校の 31.8%に対し、富貴中学校は 28.7%で、武豊中学校の方が 3.1 ポイント高くなっています。
性別	○「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」をあわせた割合をみると、男性は 78.8%、女性は 83.6%であり、女性の方が 4.8 ポイント高くなっています。 ○「大変住みやすい」で比較すると、男性の 33.3%に対し女性は 28.2%で、男性の方が 5.1 ポイント高くなっています。女性は「まあまあ住みやすい」とする評価が 55.4%と高いことが特徴です。

図表 2-2-2　属性別、住みごこち



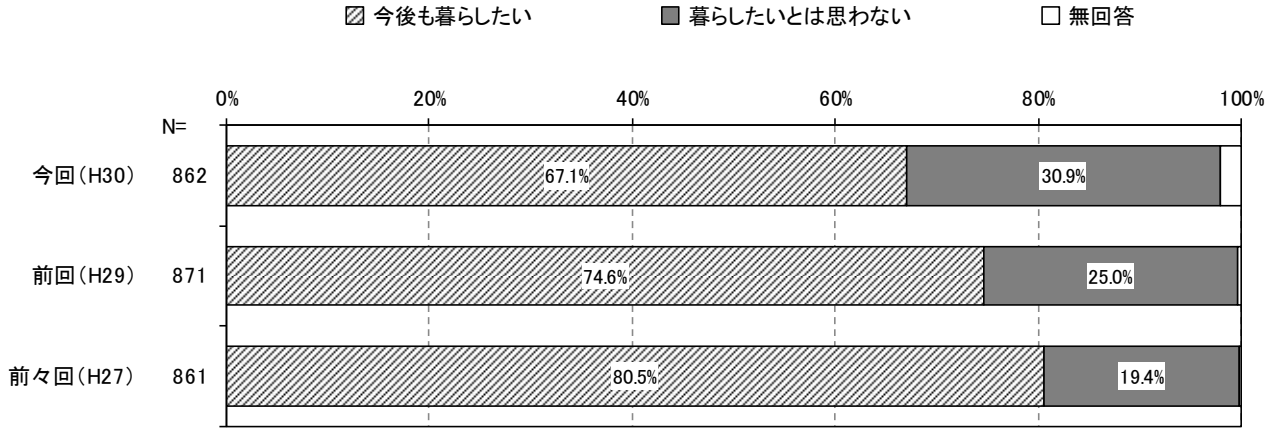
（2）今後の居住意向

問２　今後も武豊町で暮らしたいと思いますか。（１つに○印）

「今後も暮らしたい」は 67.1%で、「暮らしたいとは思わない」は 30.9%となっています。７割近くは「今後も暮らしたい」との意向を示しています。

前回調査（平成 29 年）では「今後も暮らしたい」は 74.6%で、今回調査では 7.5 ポイント低下しています。さらに、前々回調査（平成 27 年）では「今後も暮らしたい」は 80.5%あり、これと比べると 13.4 ポイントも低くなっています。中学生の今後の居住意向はこの３年でかなり低下しています。

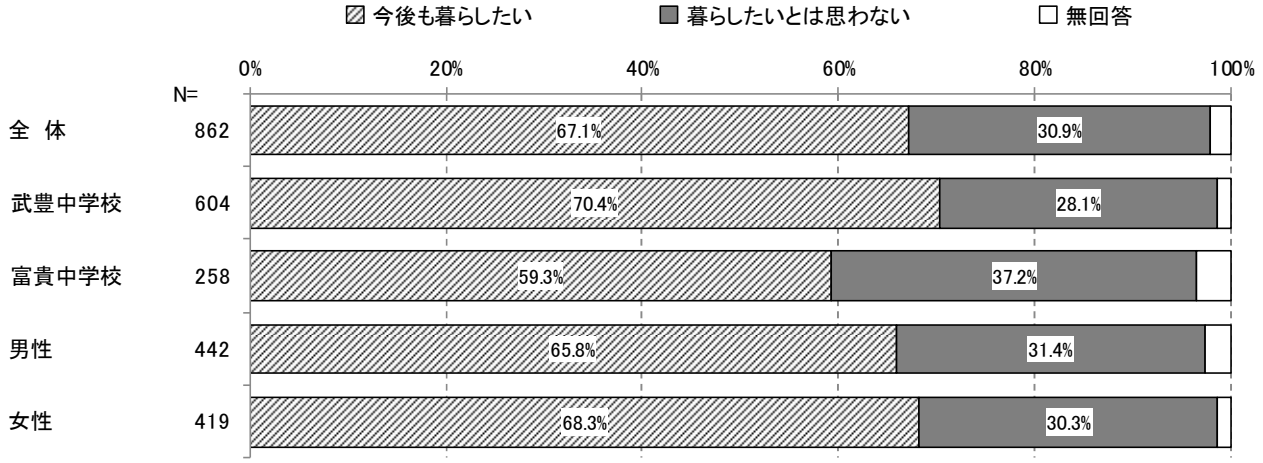
図表 2-2-3　今後の居住意向（前回調査比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○「今後も暮らしたい」をみると、武豊中学校は 70.4%、富貴中学校は 59.3%です。武豊中学校の方が 11.1 ポイント高くなっています。
性別	○「今後も暮らしたい」をみると、男性は 65.8%、女性は 68.3%で顕著な差異はみられません。

図表 2-2-4　属性別、今後の居住意向



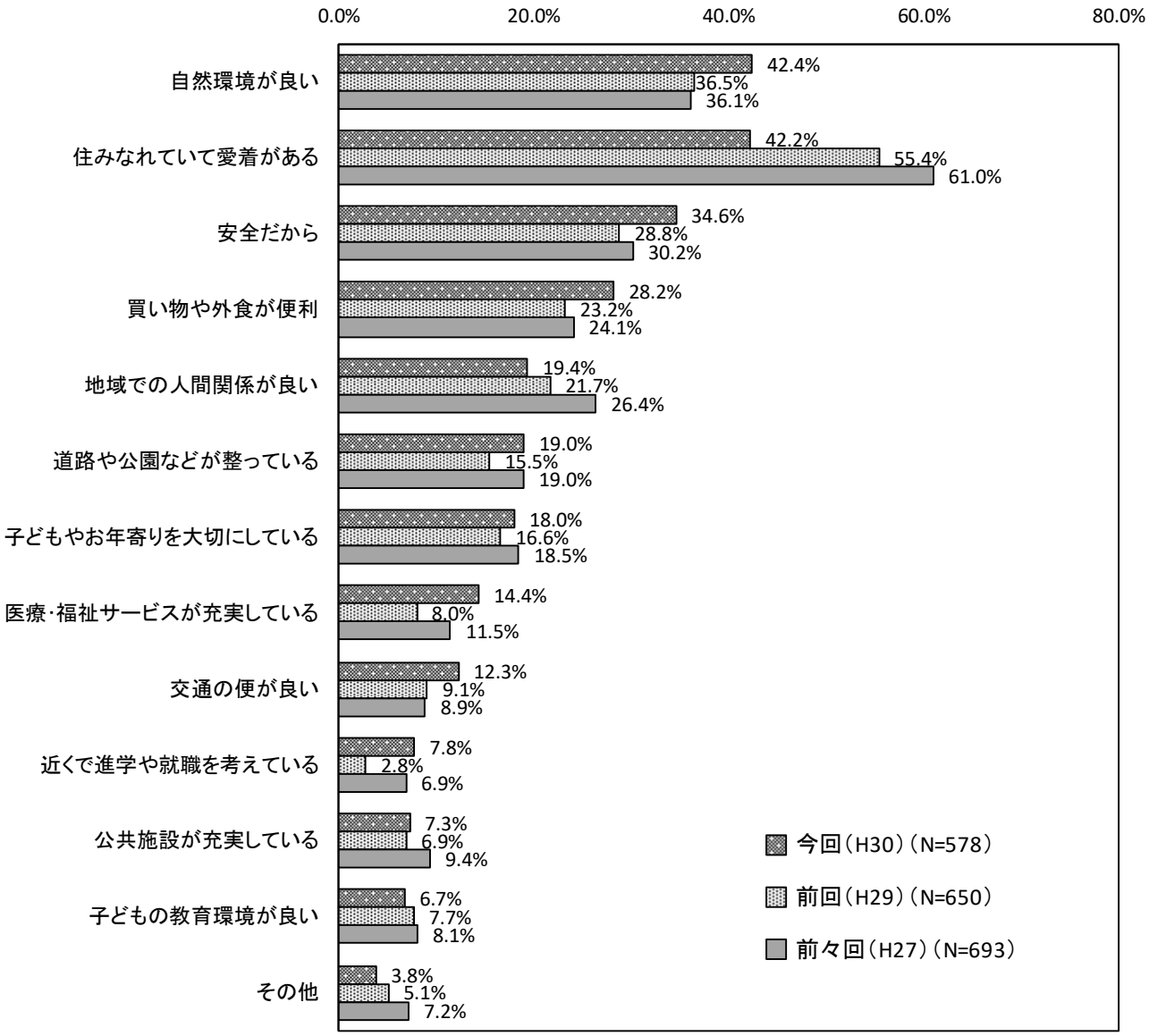
（3）武豊町で暮らしたい理由

問 2-1　武豊町で暮らしたいと思う理由は何ですか。（3つまでに○印）

「今後も暮らしたい」と回答した 578 人にその理由をたずねたところ、「自然環境が良い」が 42.4%、「住みなれていて愛着がある」が 42.2%で、この 2 つが大きな理由となっています。次いで、「安全だから」が 34.6%、「買い物や外食が便利」が 28.2%となっています。

前回調査（平成 29 年）、前々回調査（平成 27 年）と比較すると、「住みなれていて愛着がある」は、前々回調査で 61.0%あったものが、前回調査で 55.4%に低下し、さらに今回調査で 42.2%にまで低下していることがわかります。前々回調査との比較で 18.8 ポイントの低下となっており、顕著な変化となっています。

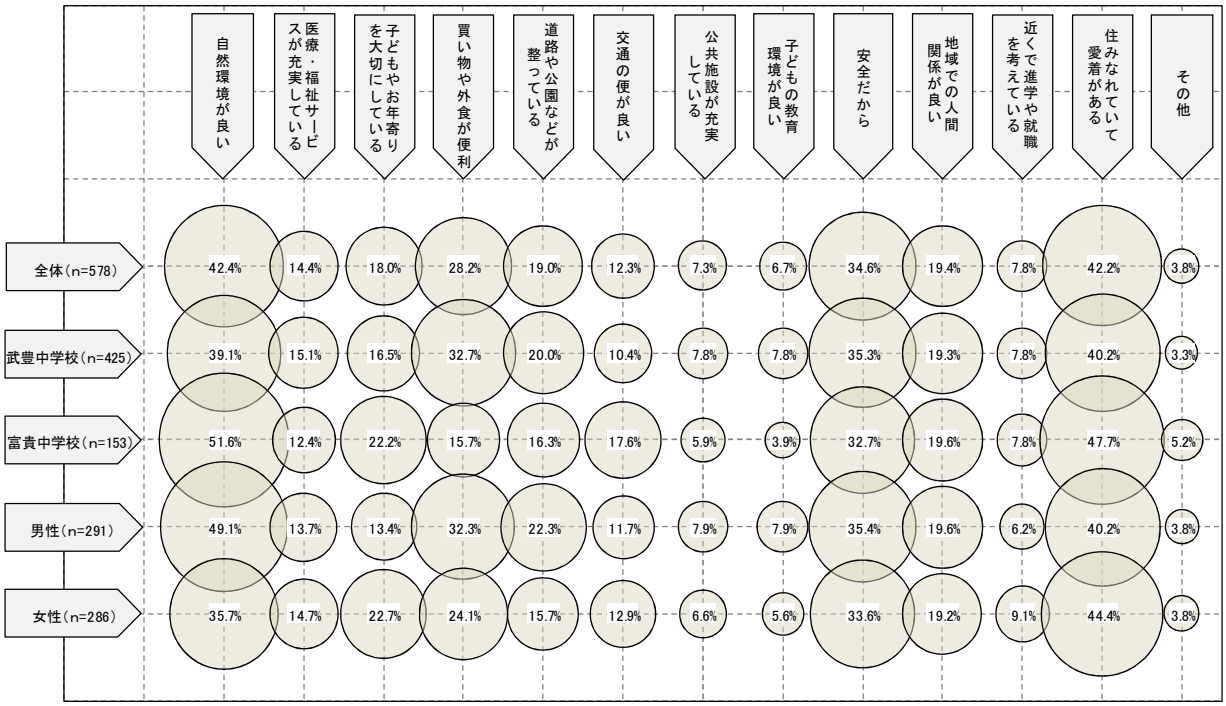
図表 2-2-5　武豊町で暮らしたい理由（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に「今後も暮らしたい」理由の傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では、「住みなれていて愛着がある」が 40.2%で最も多く、次いで「自然環境が良い」の 39.1%、「安全だから」の 35.3%となっています。 ○富貴中学校では、「自然環境が良い」が 51.6%で最も多く、次いで「住みなれていて愛着がある」の 47.7%、「安全だから」の 32.7%となっています。 ○武豊中学校より富貴中学校の方が、「自然環境が良い」、「住みなれていて愛着がある」はそれぞれ 12.5 ポイント、7.5 ポイント高くなっています。 ○武豊中学校では、「買い物や外食が便利」が 32.7%あり、富貴中学校よりも 17.0 ポイント上回っています。
性別	○男性では、「自然環境が良い」が 49.1%で、女性の 35.7%を 13.4 ポイント上回っています。また、「買い物や外食が便利」でも男性の 32.3%に対し、女性は 24.1%で、男性が 8.2 ポイント上回っています。 ○女性では、「住みなれていて愛着がある」が 44.4%で最も多く、男性の 40.2%を 4.2 ポイント上回っています。

図表 2-2-6　属性別、武豊町で暮らしたい理由



（4）武豊町で暮らしたくない理由

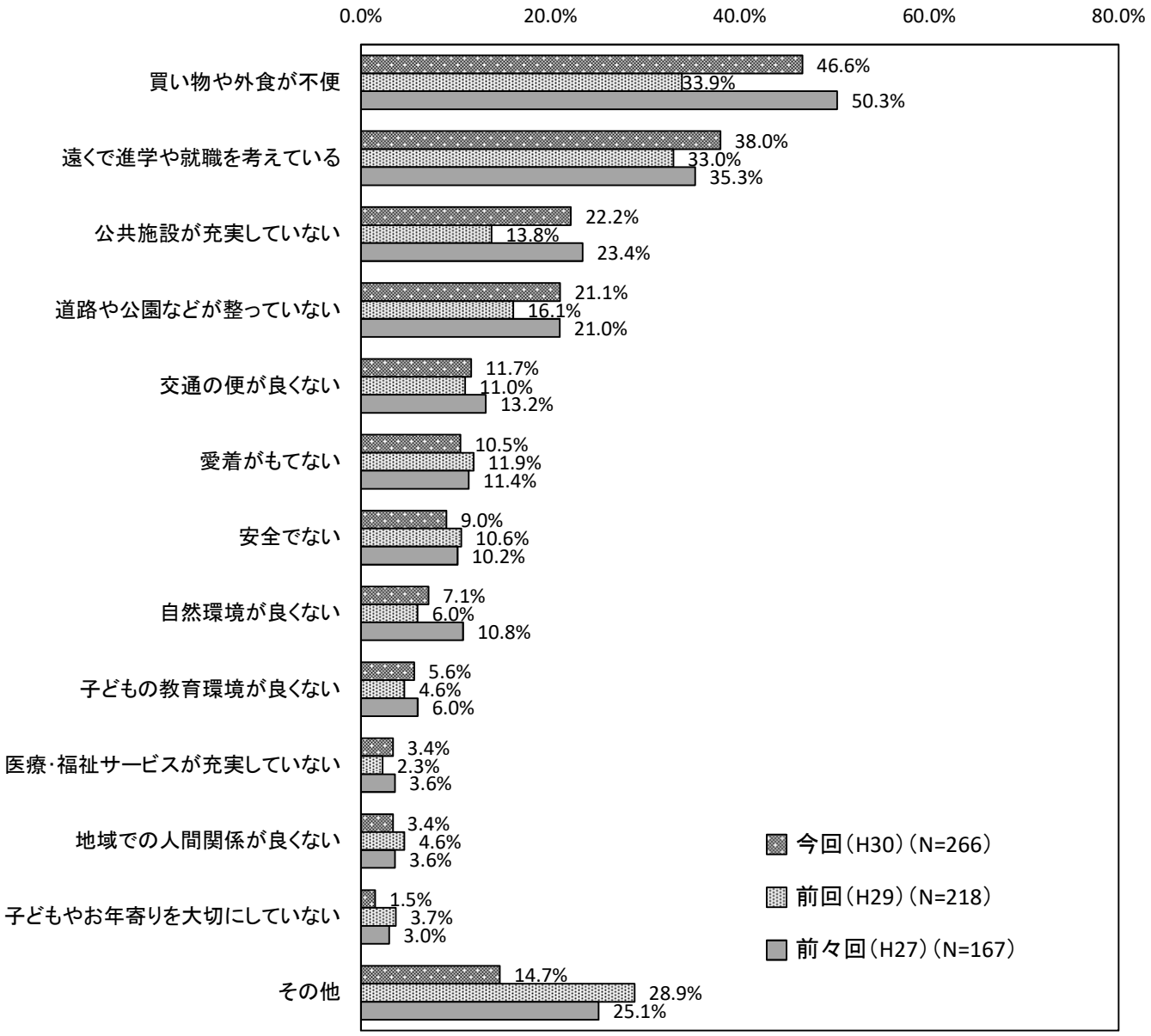
問２-２　武豊町で暮らしたいとは思わない理由は何ですか。（３つまでに○印）

「暮らしたいとは思わない」と回答した 266 人にその理由をたずねたところ、「買い物や外食が不便」が 46.6％で最も多く、次いで「遠くで進学や就職を考えている」が 38.0％で、この２つが大きな理由となっています。さらに、「公共施設が充実していない」が 22.2％、「道路や公園などが整っていない」が 21.1％となっています。

「買い物や外食が不便」については、前々回調査（平成 27 年）では 50.3％、前回調査（平成 29 年）では 33.9％と大きく減少していましたが、今回は 46.6％と再び増加しています。

「遠くで進学や就職を考えている」についても、前々回調査（平成 27 年）では 35.3％、前回調査（平成 29 年）では 33.0％とやや減少していましたが、今回は 38.0％と再び増加しています。

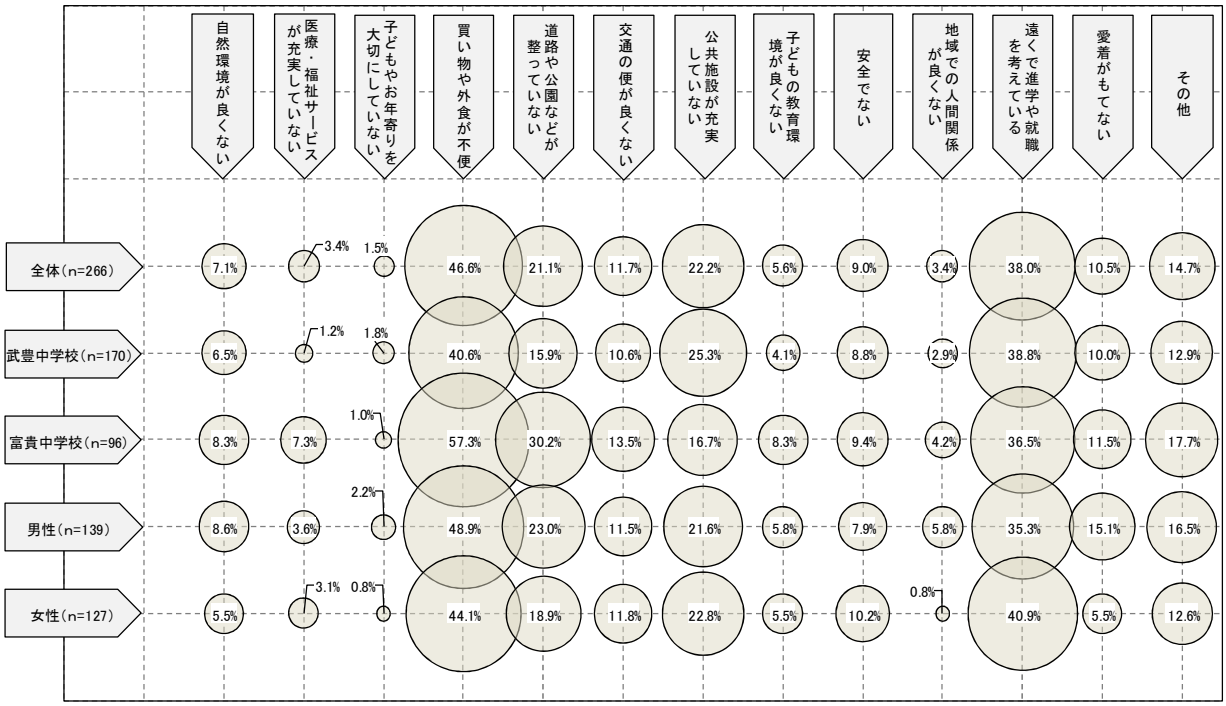
図表 2-2-7　武豊町で暮らしたくない理由（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に「暮らしたいとは思わない」理由の傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校でも富貴中学校でも、「買い物や外食が不便」が最も多くなっていますが、武豊中学校の 40.6%に対して、富貴中学校では 57.3%で、富貴中学校の方が 16.7 ポイントも高くなっています。 ○「遠くで進学や就職を考えている」については、武豊中学校は 38.8%、富貴中学校は 36.5%で、両者に顕著な差異はみられません。 ○このほか、武豊中学校では第３位が「公共施設が充実していない」の 25.3%ですが、富貴中学校では「道路や公園などが整っていない」の 30.2%となっています。
性別	○男性も女性も「買い物や外食が不便」が最も多くなっていますが、男性は 48.9%、女性は 44.1%で、男性の方が 4.8 ポイント高くなっています。 ○一方、「遠くで進学や就職を考えている」については、女性が 40.9%、男性が 35.3%で、こちらは女性の方が 5.6 ポイント上回っています。

図表 2-2-8　属性別、武豊町で暮らしたくない理由



２－３　幸福度

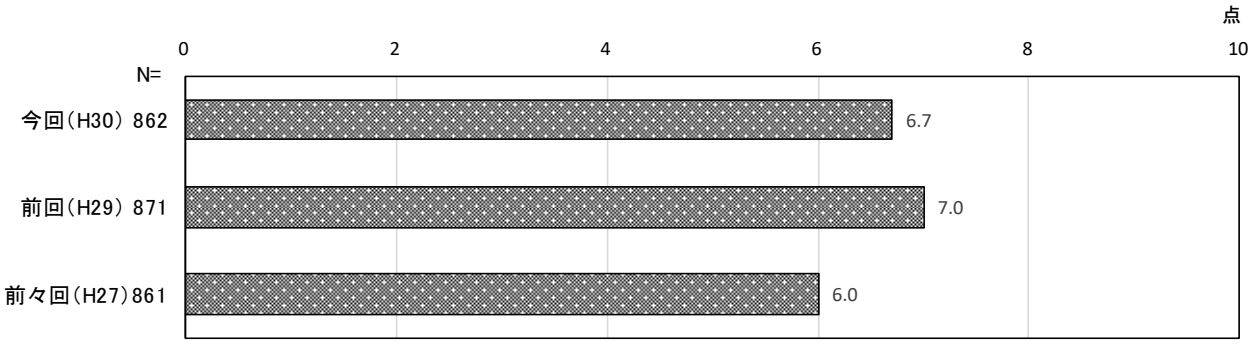
（１）現在の幸福度

問３　あなたは、今、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。（あてはまる数字１つに○印）

10 点を満点として幸福度をたずねたところ、「７点」が 18.7%で最も高く、次いで「５点」の 17.5%、「８点」の 17.4%となりました。

平均点は 6.7 点で、前回調査（平成 29 年）の 7.0 点と比べ 0.3 ポイント下がりました。なお、前々回調査（平成 27 年）では 6.0 点でした。

図表 2-3-1　現在の幸福度（過去調査比較）

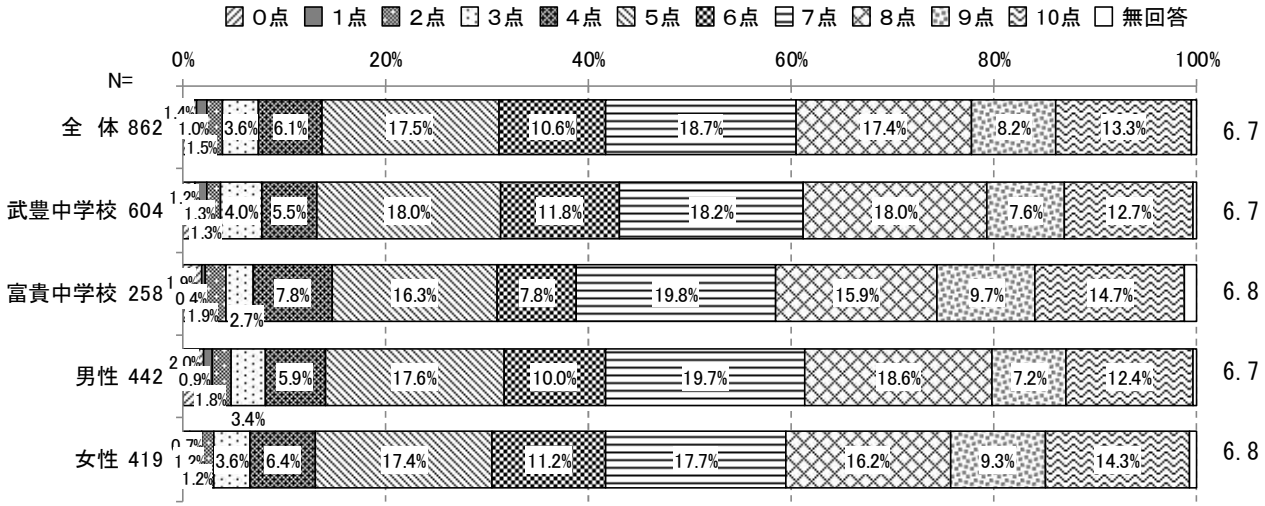


No.	幸福度（評点）	平成 30 年		平成 29 年
		n	%	%
1	０点	12	1.4%	0.9%
2	１点	9	1.0%	1.0%
3	２点	13	1.5%	0.8%
4	３点	31	3.6%	3.6%
5	４点	53	6.1%	4.5%
6	５点	151	17.5%	15.2%
7	６点	91	10.6%	10.3%
8	７点	161	18.7%	17.9%
9	８点	150	17.4%	18.7%
10	９点	71	8.2%	10.4%
11	10 点	115	13.3%	16.4%
無回答		5	0.6%	0.3%
平均点		862	6.7 点	7.0 点
全体		1318	100.0%	100.0%

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では、「７点」が 18.2%、「５点」と「８点」がともに 18.0%で、この３者がほぼ同数です。 ○富貴中学校では、「７点」が 19.8%で最も多く、次いで「５点」の 16.3%、「８点」の 15.9%の順になっています。 ○平均点でみると、武豊中学校が 6.7 点、富貴中学校が 6.8 点でほとんど差異はありません。
性別	○男性では、「７点」の 19.7%、「８点」の 18.6%、「５点」の 17.6%の順になっています。一方、女性では、「７点」の 17.7%、「５点」の 17.4%、「８点」の 16.2%の順になっています。 ○平均点でみると、男性は 6.7 点、女性は 6.8 点で、男女による差異はありません。

図表 2-3-2　属性別、現在の幸福度



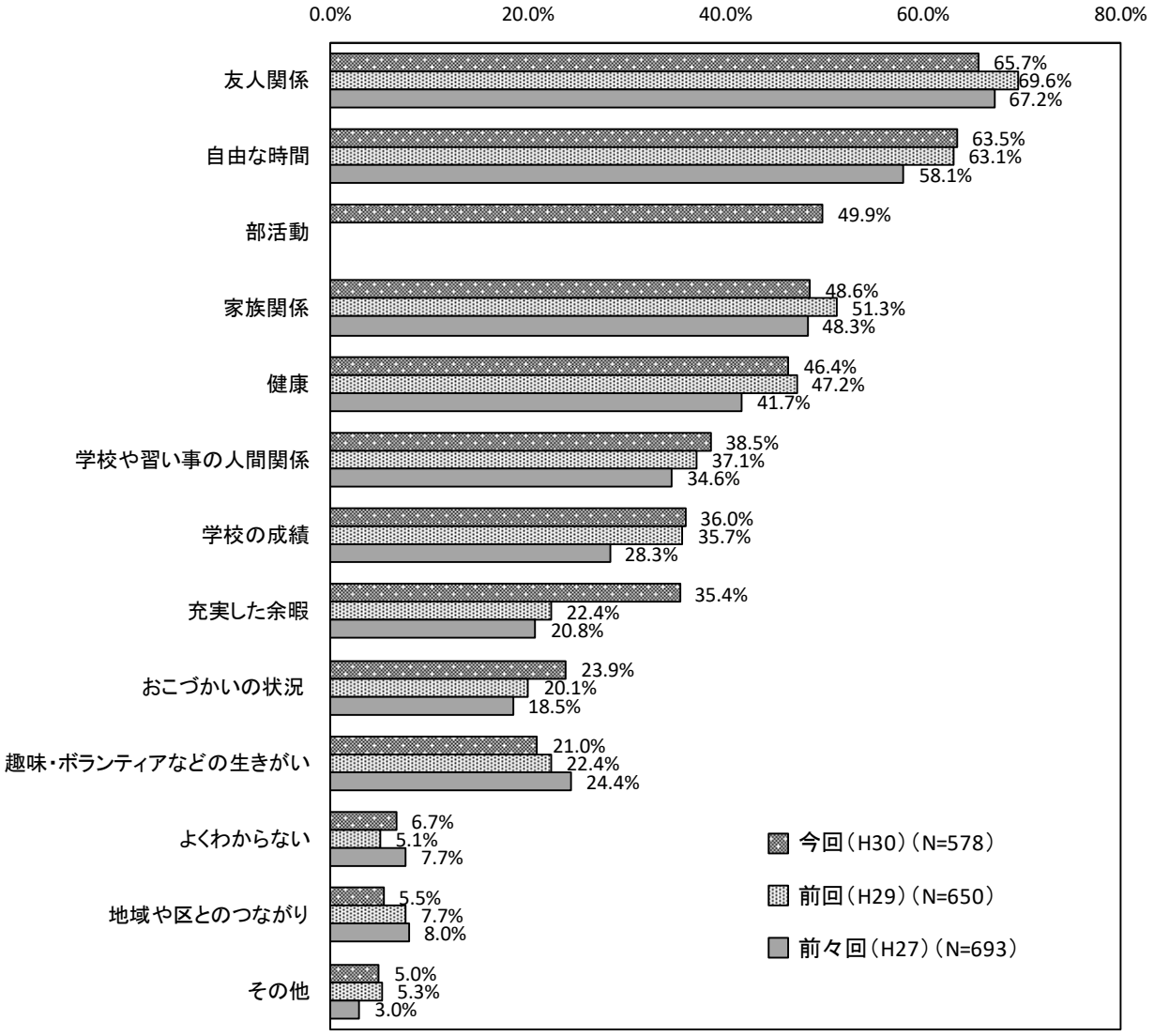
（2）幸福感を判断する際に重視した事項

問４　あなたが「幸せかどうか」を判断するときに重視したことは何ですか？ （あてはまるものすべてに○印）

幸福感を判断する際に重視した事項としては、「友人関係」が 65.7%で最も多く、次いで「自由な時間」の 63.5%、「部活動」の 49.9%となっています。

前々回調査（平成 27 年）、前回調査（平成 29 年）、今回を比較すると、「友人関係」は順に 67.2%、69.6%、65.7%と推移しており大きな変化はみられません。「自由な時間」は前々回調査から前回調査に 5.0 ポイント高くなりましたが、今回は前回調査と大差はありません。

図表 2-3-3　幸福感を判断する際に重視した事項（過去調査との比較）

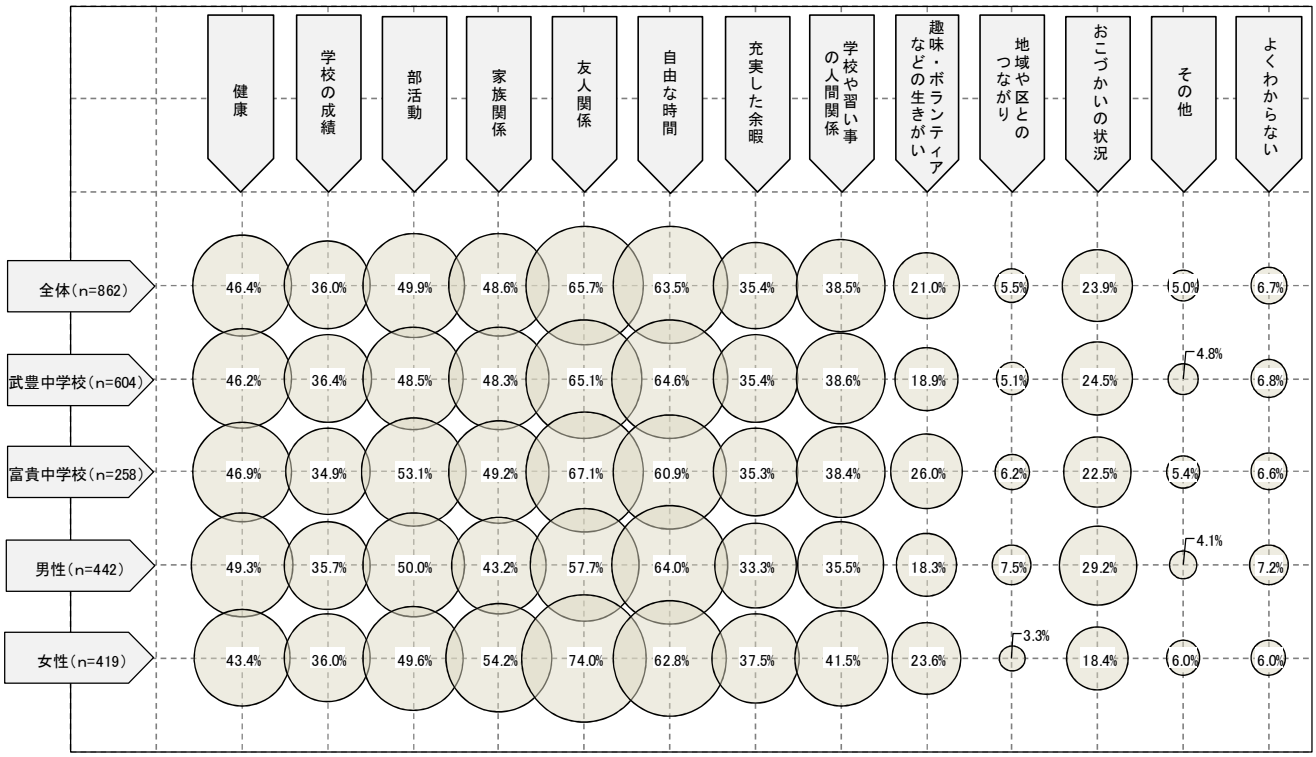


※「部活動」は今回新規に選択肢に加えたため、前回（平成 29 年）、前々回（平成 27 年）は調査していない。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○学校による顕著な差異はみられません。
性別	○男性では、「自由な時間」が 64.0%で最も多く、次いで「友人関係」の 57.7%、「部活動」の 50.0%、「健康」の 49.3%の順になっています。 ○女性では、「友人関係」の 74.0%が最も多く、次いで「自由な時間」の 62.8%、「家族関係」の 54.2%、「部活動」の 49.6%の順になっています。 ○「友人関係」は女性の方が 16.3 ポイント高くなっていることが特徴的です。

図表 2-3-4　属性別、幸福感を判断する際に重視した事項



２－４　家庭や学校などでの生活

（１）学校生活

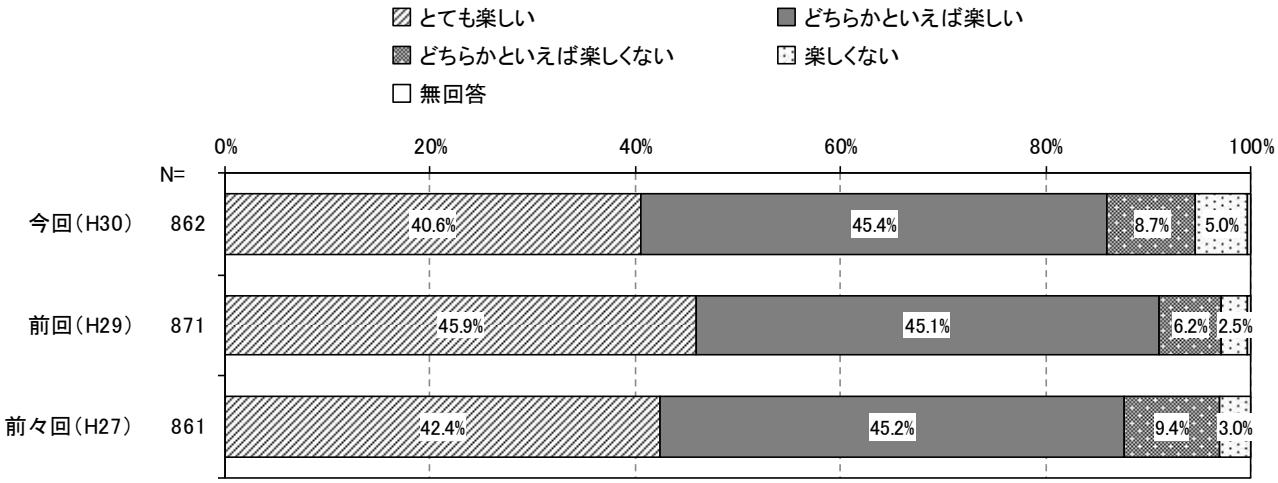
問５　学校は楽しいですか。（１つに○印）

「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた『楽しい』の割合は 86.0%、「どちらかといえば楽しくない」と「楽しくない」をあわせた『楽しくない』の割合は 13.7%となっています。

『楽しい』の割合は前回調査（平成 29 年）の 91.0%と比べ 5.0 ポイント低下しています。なお、前々回調査（平成 27 年）は 87.6%でした。80%後半から 90%前後で推移しています。

『楽しくない』の割合は前回調査（平成 29 年）の 8.7%と比べ 5.0 ポイント高くなっています。なお、前々回調査（平成 27 年）は 12.4%でした。『楽しくない』の割合がわずかですが増加しています。

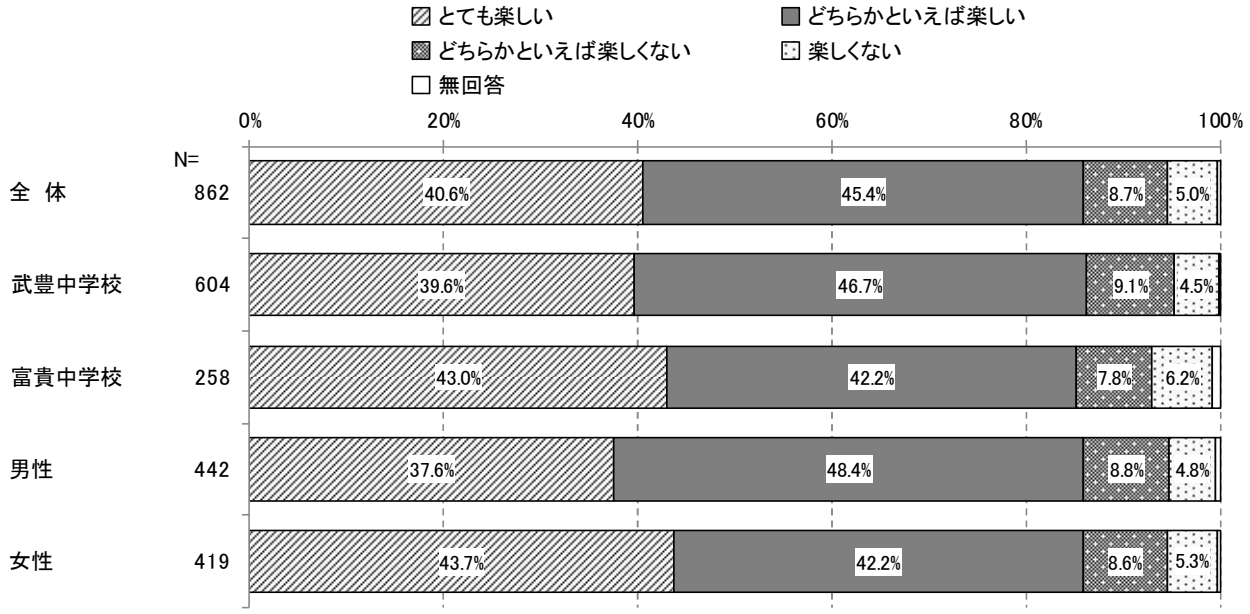
図表 2-4-1　学校生活（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた『楽しい』の割合は、武豊中学校では 86.3%、富貴中学校では 85.2%で、両者に顕著な差異はみられません。 ○「どちらかといえば楽しくない」と「楽しくない」をあわせた『楽しくない』の割合は武豊中学校では 13.6%、富貴中学校では 14.0%で、これも顕著な差異はみられません。
性別	○『楽しい』の割合は、男性 86.0%、女性 85.9%でほとんど差異はみられません。 ○『楽しくない』の割合は、男性 13.6%、女性 13.9%でほぼ同数です。

図表 2-4-2　属性別、学校生活



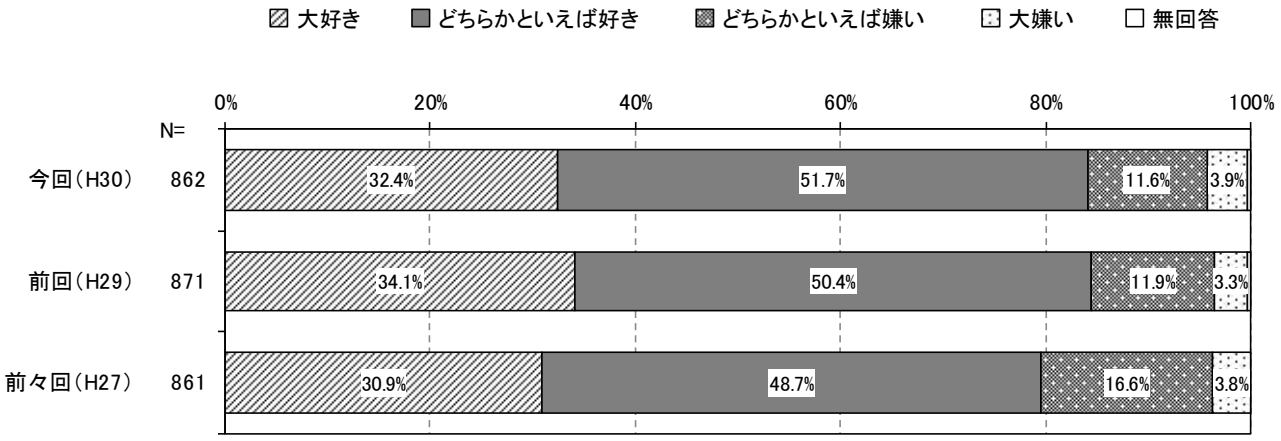
（2）給食

問６　給食は好きですか。（１つに○印）

「大好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた『好き』の割合は 84.1%、「どちらかといえば嫌い」と「大嫌い」を合わせた『嫌い』の割合は 15.5%となっています。

前回調査（平成 29 年）では『好き』は 84.5%、『嫌い』は 15.2%で、今回調査と大差はありません。前々回調査（平成 27 年）では、『好き』79.6%、『嫌い』20.4%で、これと比べると『好き』は 4.5 ポイント高くなっています。

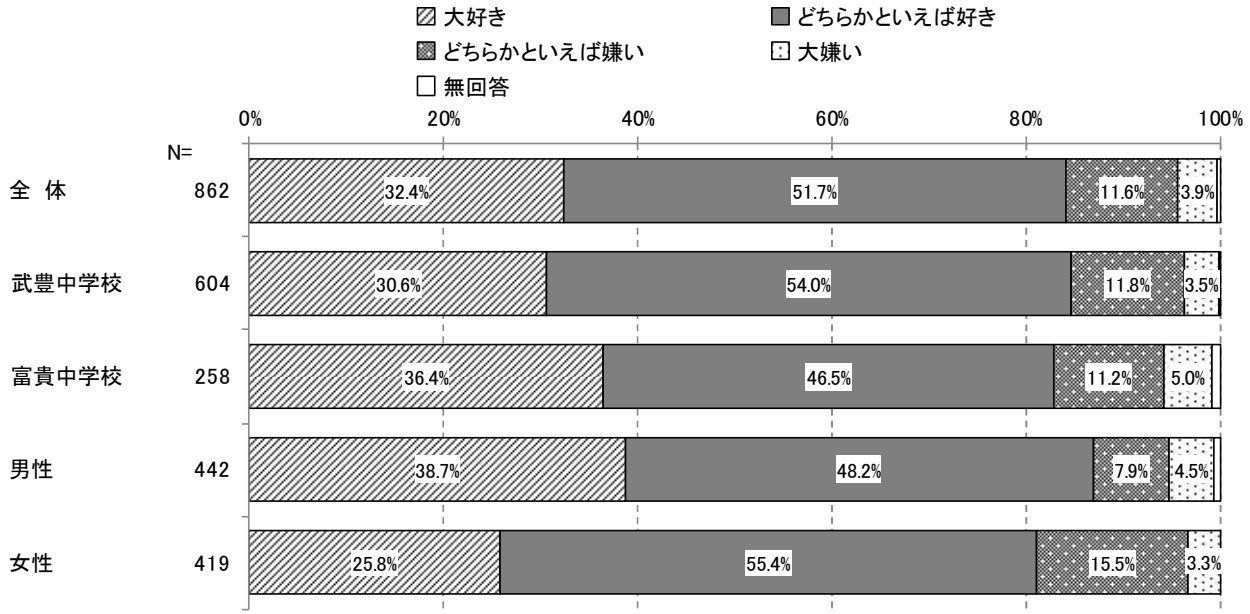
図表 2-4-3　給食（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○「大好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた『好き』の割合は、武豊中学校が84.6%、富貴中学校が82.9%で顕著な差異はみられません。 ○「どちらかといえば嫌い」と「大嫌い」を合わせた『嫌い』の割合は、武豊中学校が15.3%、富貴中学校が16.2%です。
性別	○『好き』の割合は、男性86.9%、女性81.2%で、男性の方が5.7ポイント高くなっています。 ○『嫌い』の割合は、男性12.4%、女性18.8%で、女性が6.4ポイント高くなっています。

図表 2-4-4　属性別、給食



（３）地域の祭りや行事

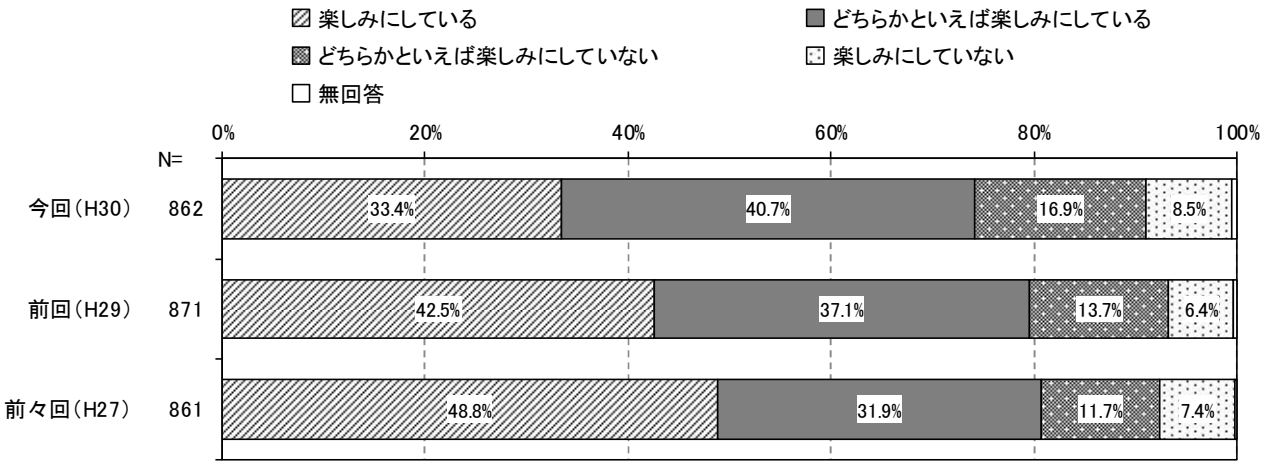
問７　「地域の祭りや行事など」を楽しみにしていますか。（１つに○印）

「楽しみにしている」と「どちらかといえば楽しみにしている」をあわせた『楽しみにしている』の割合は 74.1%、「どちらかといえば楽しみにしていない」と「楽しみにしていない」をあわせた『楽しみにしていない』の割合は 25.4%となっています。

前回調査（平成 29 年）では『楽しみにしている』は 79.6%、『楽しみにしていない』は 20.1%で、『楽しみにしている』は 5.5 ポイントの減少、『楽しみにしていない』は 5.3 ポイントの増加となっています。前々回調査（平成 27 年）では、『楽しみにしている』80.7%、『楽しみにしていない』19.1%で、これと比べると、『楽しみにしている』は 6.6 ポイントの減少、『楽しみにしていない』は 6.3 ポイントの増加となっています。

「地域の祭りや行事など」を楽しみにしている中学生の割合は徐々に低下する傾向がみられます。

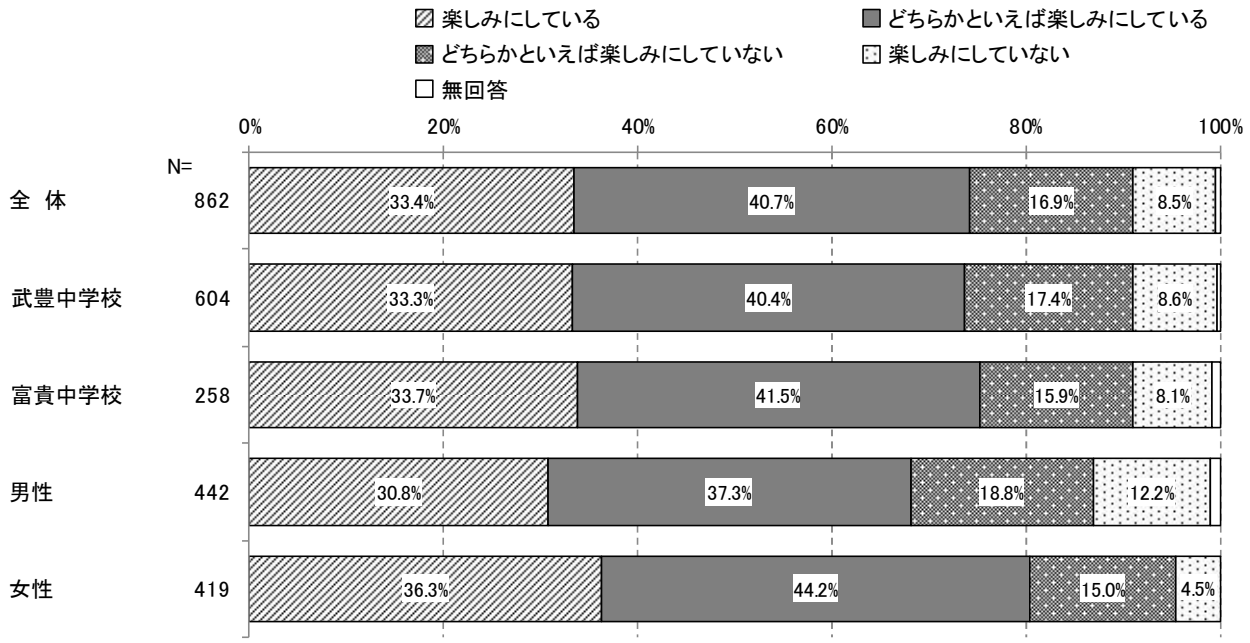
図表 2-4-5　地域の祭りや行事（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では、『楽しみにしている』は 73.7%、『楽しみにしていない』は 26.0%、富貴中学校では、『楽しみにしている』は 75.2%、『楽しみにしていない』は 24.0%です。学校による顕著な差異はみられません。
性別	○男性では、『楽しみにしている』は 68.1%、『楽しみにしていない』は 31.0%、女性では、『楽しみにしている』は 80.5%、『楽しみにしていない』は 19.5%です。 ○『楽しみにしている』は女性の方が 12.4 ポイント高くなっています。

図表 2-4-6　属性別、地域の祭りや行事



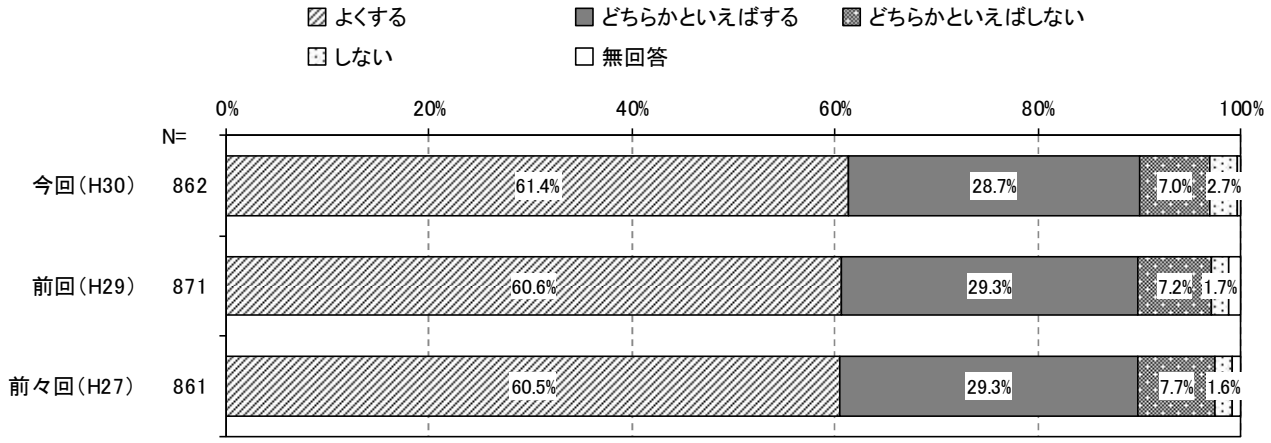
（4）家族との会話

問８　　日ごろから、家族とよく話をしますか。（１つに○印）。

「よくする」と「どちらかといえばする」をあわせた『する』の割合は 90.1%、「どちらかといえばしない」と「しない」をあわせた『しない』の割合は 9.7%となっています。

前回調査（平成 29 年）では『する』は 89.9%、『しない』は 8.9%です。また、前々回調査（平成 27 年）では、『する』89.8%、『しない』9.3%でした。今回の結果と大きな差異はありません。

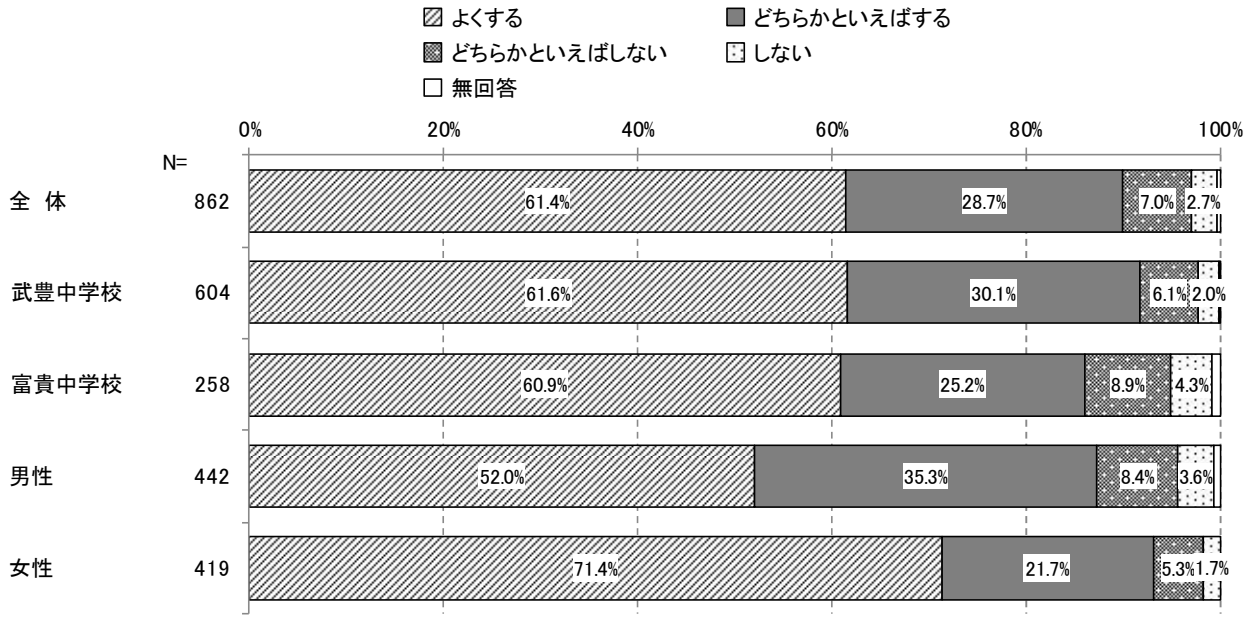
図表 2-4-7　家族との会話（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では、『する』は 91.7%、『しない』は 8.1%となっています。富貴中学校では、『する』は 86.1%、『しない』は 13.2%です。 ○『する』の割合は、武豊中学校の方が 5.7 ポイント高くなっています。
性別	○男性では『する』は 87.3%、『しない』は 12.0%、女性では『する』は 93.1%、『しない』は 7.0%となっています。『する』は女性の方が 5.8 ポイント高くなっています。 ○「よくする」で比較すると女性の 71.4%に対して男性は 52.0%で、女性の方が 19.4 ポイントも高くなっています。女性の方が日ごろから家族とよく話をしていることがわかります。

図表 2-4-8　属性別、家族との会話



（5）近所の方とのあいさつ

問９　近所の人をみかけたらあいさつをしていますか。（１つに○印）

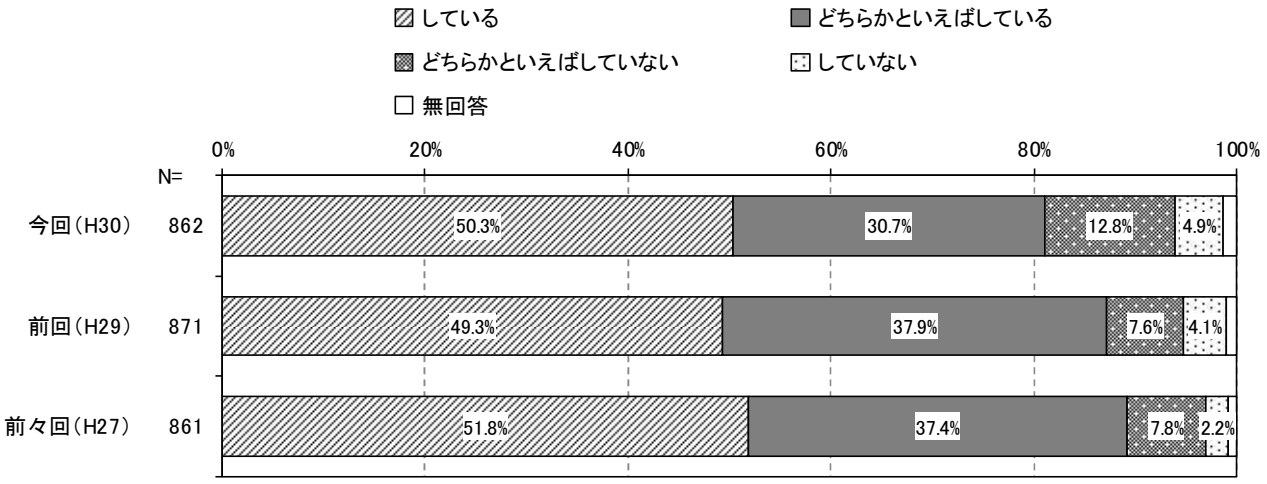
「している」と「どちらかといえばしている」をあわせた『している』の割合は 81.0%、「どちらかといえばしていない」と「していない」をあわせた『していない』の割合は 17.7%となっています。

前回調査（平成 29 年）では『している』は 87.2%、『していない』は 11.7%となっています。また、前々回調査（平成 27 年）では、『している』は 89.2%、『していない』は 10.0%でした。

今回調査と前々回調査を比べると、『している』は 8.2 ポイントの減少、『していない』は 7.7 ポイントの増加となっています。

近所の人をみかけたらあいさつをしている中学生の割合は徐々に低下している傾向をみることができます。

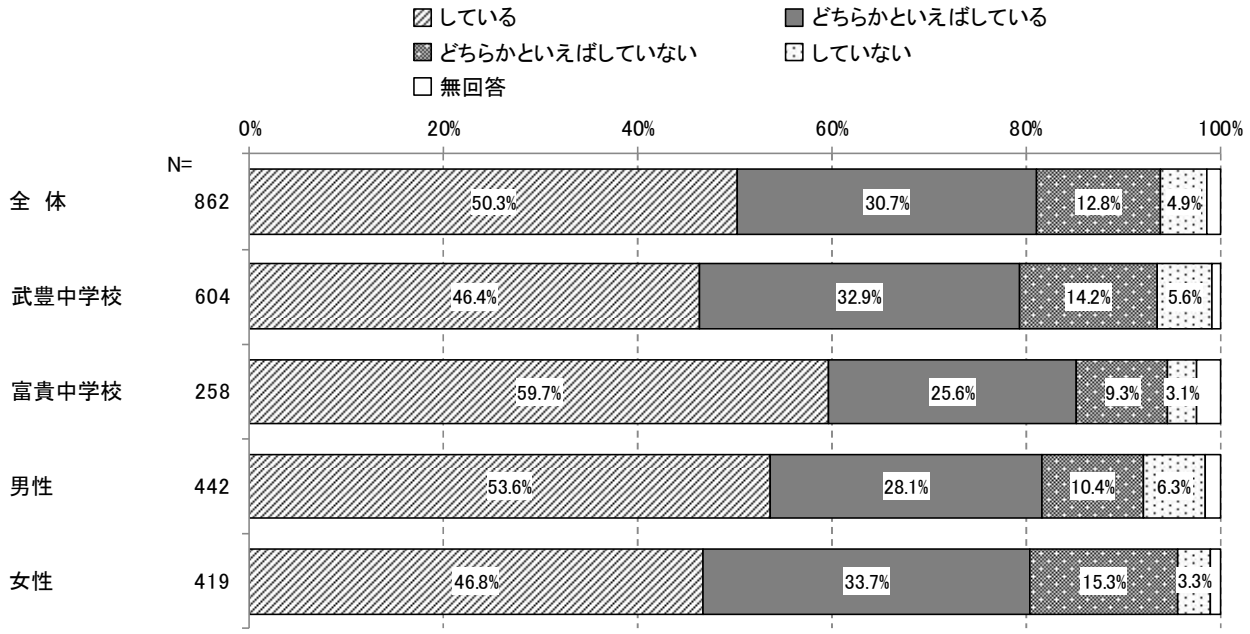
図表 2-4-9　近所の方とのあいさつ（過去調査との比較）



以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では『している』は 79.3%、『していない』は 19.8%となっています。富貴中学校では、『している』は 85.3%、『していない』は 12.4%です。 ○富貴中学校の方が『している』は 6.0 ポイント高く、『していない』は 7.4 ポイント低くなっています。近所の人にあいさつをしていると回答する生徒の割合は富貴中学校の方が高い傾向がみられます。
性別	○男性では『している』は 81.7%、『していない』は 16.7%となっています。女性では『している』は 80.5%、『していない』は 18.6%です。男女による顕著な差異はみられません。 ○「している」と回答した割合で比較すると、男性の 53.6%に対して女性は 46.8%で、男性の方が 6.8 ポイント高くなっています。

図表 2-4-10　属性別、近所の方とのあいさつ



（６）歴史・産業への興味

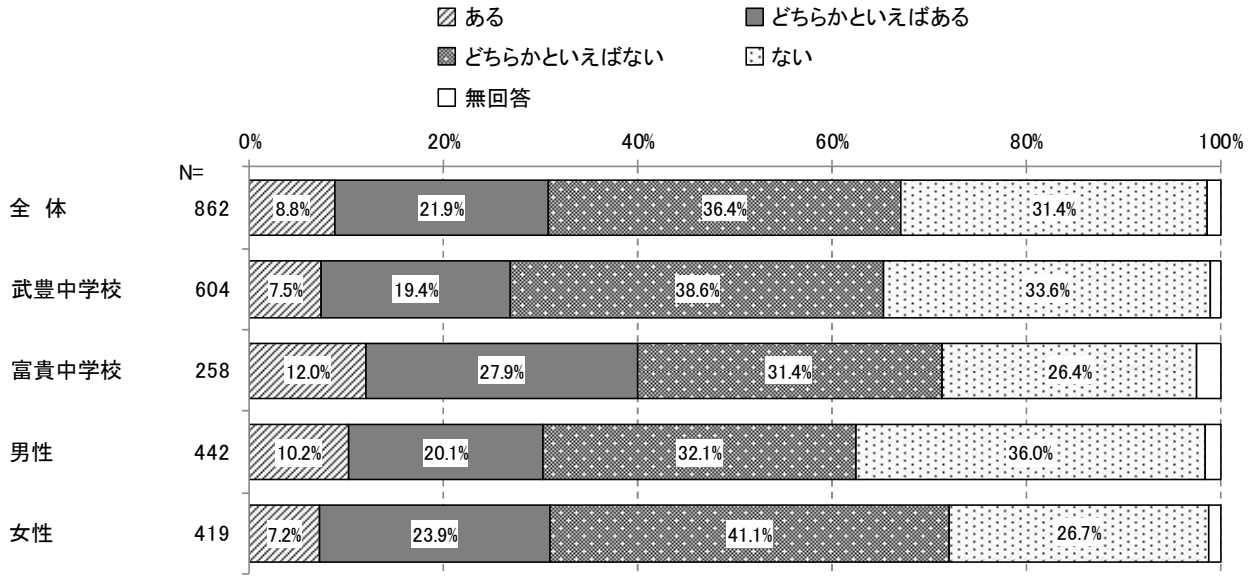
問１０　武豊町の歴史・産業など町のことに興味がありますか。（１つに○印）

「ある」と「どちらかといえばある」をあわせた『ある』の割合は 30.7%、「どちらかといえばない」と「ない」をあわせた『ない』の割合は 67.8%となっています。関心があるのは約３割です。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では『ある』は 26.9%、『ない』は 72.2%となっています。富貴中学校では『ある』は 39.9%、『ない』は 57.8%です。 ○富貴中学校の方が『ある』が 13.0 ポイント高く、町の歴史・産業への関心が高い傾向がみられます。
性別	○男性では『ある』は 30.3%、『ない』は 68.1%となっています。女性では『ある』は 31.1%、『ない』は 67.8%です。男女による顕著な差異はみられません。 ○「ある」と回答した割合で比較すると、男性の 10.2%に対して女性は 7.2%で、男性の方がわずかですが 3.0 ポイント高くなっています。

図表 2-4-11　属性別、歴史・産業への興味



※今回新規に設けた設問のため、前回（平成 29 年）、前々回（平成 27 年）は調査していない。

（7）地域活動への参加

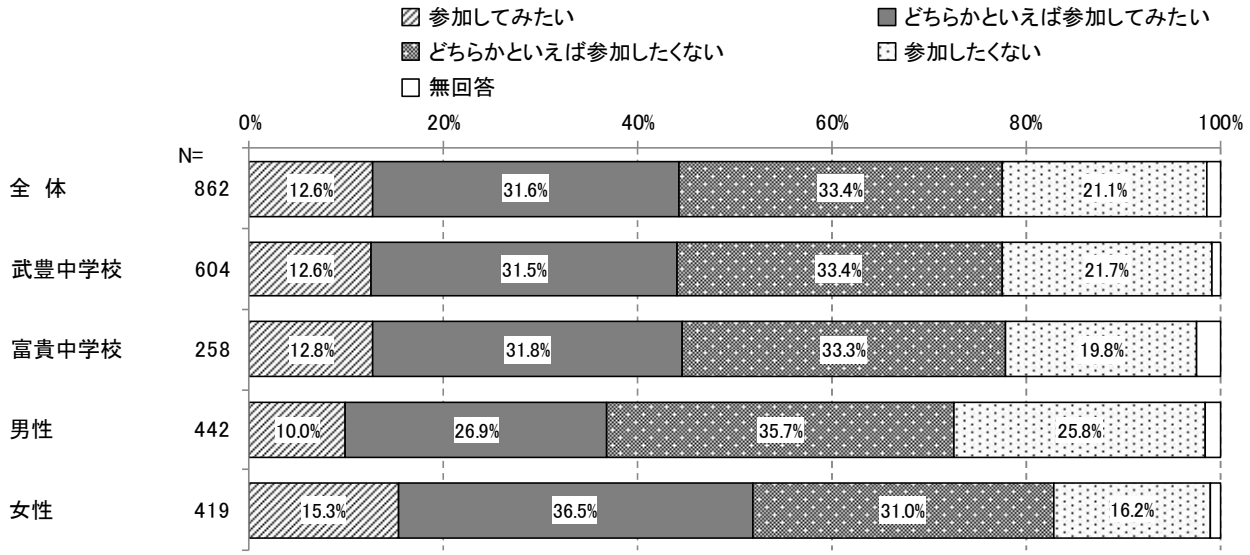
問１１　地域をよくするための活動（区の活動やボランティア団体の活動）に参加してみたいですか。（１つに○印）

「参加してみたい」と「どちらかといえば参加してみたい」をあわせた『参加してみたい』の割合は 44.2%、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」をあわせた『参加したくない』の割合は 54.5%となっています。『参加したくない』と回答した中学生の方が多くなっています。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では『参加してみたい』は 44.1%、『参加したくない』は 55.1%となっています。富貴中学校では『参加してみたい』は 44.6%、『参加したくない』は 53.1%です。中学校による顕著な差異はみられません。
性別	○男性では『参加してみたい』は 36.9%、『参加したくない』は 61.5%となっています。女性では『参加してみたい』は 51.8%、『参加したくない』は 47.2%です。女性の方が『参加してみたい』が 14.9 ポイント高く、男性よりも女性の方が活動への参加意向が高い傾向をみることができます。 ○「参加してみたい」と回答した割合で比較しても、男性の 10.0%に対して女性は 15.3%で、女性の方が 5.3 ポイント高くなっています。

図表 2-4-12　属性別、地域活動への参加



※今回新規に設けた設問のため、前回（平成 29 年）、前々回（平成 27 年）は調査していない。

（８）武豊町に対する好感度（町が好きか）

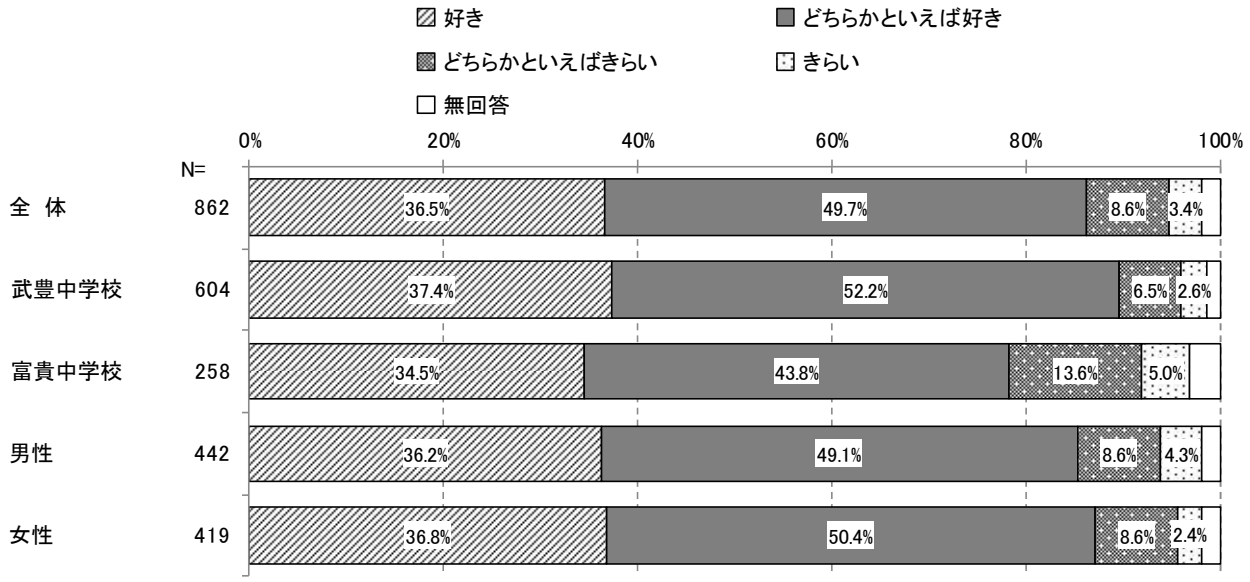
問１２　武豊町のことが好きですか。（１つに○印）

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた『好き』の割合は 86.2%、「どちらかといえばきらい」と「きらい」をあわせた『きらい』の割合は 12.0%となっています。９割近くは『好き』と回答しています。

以下、回答者の属性別に傾向をみていきます。

学校別	○武豊中学校では『好き』は 89.6%、『きらい』は 9.1%となっています。富貴中学校では『好き』は 78.3%、『きらい』は 18.6%です。 ○武豊中学校の方が『好き』の割合は 11.3 ポイント高くなっています。富貴中学校では「どちらかといえばきらい」が 13.6%で、武豊中学校よりも 7.1 ポイント高くなっています。
性別	○男性では『好き』は 85.3%、『きらい』は 12.9%となっています。女性では『好き』は 87.2%、『きらい』は 11.0%です。男女で顕著な差異はみられません。

図表 2-4-13　属性別、武豊町に対する好感度



※今回新規に設けた設問のため、前回（平成 29 年）、前々回（平成 27 年）は調査していない。

２－５　自由意見

（１）今後のまちづくりに向けた意見・提案

問１３　これから、武豊町がどんなまちになったらいいと思いますか。自由に記述してください。

今後のまちづくりに向けた意見・提案を自由に回答いただきました。

第５次武豊町総合計画後期戦略プランの体系（７つの基本目標・22 のめざすべきまちの姿）に沿って、意見を整理すると回答数は以下の通りとなりました。具体的な意見は別添の参考資料に記します。

図表 2-5-1　今後のまちづくりに向けた意見・提案

基本目標１　ともに創るまち［行政経営］	
めざすべきまちの姿	件数
１－１　住民がまちづくりに参画しやすいまち	8
１－２　情報が相互に発信されているまち	1
１－３　住民に満足される行政サービスが行われているまち	3
１－４　健全に行財政が運営されているまち	6
計	18
基本目標２　安全に暮らせるまち［安全環境］	
めざすべきまちの姿	件数
２－１　徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち	48
２－２　道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち	34
２－３　災害への備えや日常生活の安全性が確保されているまち	117
計	199
基本目標３　ふれあいのあるまち［地域交流］	
めざすべきまちの姿	件数
３－１　集い・憩える魅力的な場所があるまち	114
３－２　誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち	42
３－３　地域活動が活発に行われているまち	29
計	185
基本目標４　子どもが健やかに育つまち［次世代育成］	
めざすべきまちの姿	件数
４－１　安心して子どもを生み育てることができるまち	7
４－２　働きながらでも子育てをしやすい環境が整っているまち	1
４－３　子どもが楽しく学校生活を送っているまち	52
計	60
基本目標５　いきいきと暮らせるまち［健康福祉］	
めざすべきまちの姿	件数
５－１　楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられるまち	25
５－２　高齢者や障がい者がいきいきと暮らしているまち	18
５－３　みんながお互いを理解しやさしい心を持っているまち	77
計	120

基本目標６　自然環境と生活環境が調和したまち［生活環境］	
めざすべきまちの姿	件数
６－１　みんなが自然環境を大切にしているまち	59
６－２　環境へ負荷をかけない生活環境になっているまち	46
６－３　快適で豊かな住環境が整っているまち	83
計	188
基本目標７　活力に満ち誇りをもてるまち［地域活性］	
めざすべきまちの姿	件数
７－１　中心市街地がにぎやかに活気づいているまち	211
７－２　産業が活性化しているまち	5
７－３　住民が誇りを持って生活しているまち	32
計	248

アンケートについて	
計	1
特になし	
計	42
その他	
計	57

合計	1,118